

もうすぐ春ですね！

今年は「うるう年」で「閏」のある年。すなわち1年が366日と1日多く、2024年2月の最終日が29日となる。「うるう年」とは？と調べてみた。

現在世界中で使っている暦は「グレゴリオ暦」で、「うるう年」は次のように定められている。

- (1) 西暦年数が4で割り切れる年を「うるう年」とする。
- (2) (1)の例外として100で割り切れて400で割り切れない年は平年とする。

2024年は4で割り切れるので「うるう年」となる。夏季オリンピックが開催される年は「うるう年」。しかし(2)に該当する2100年、2200年は平年となる。何故か？

紀元前、ユリウス・カエサルが「平年を365日」とする「ユリウス暦」を暦とし、4年に1度の「うるう年」も制定した。しかし長い年月により「暦」と季節にズレが生じ、1582年ローマ教皇グレゴリウス13世が「グレゴリオ暦」に改暦し上記の「うるう年」を定めたのが始まりである。

地球が太陽の周りを1周するのに約365.24219日かかるそうだ。4年に1度「うるう年」を定めこの差を修正している。それでも数千年で1日のズレが生じるはずだが、どのように修正するかは決まっていないようだ。



2月29日生まれの方はいつ1歳年となるのか？「年齢計算ニ関スル法律」では誕生日を「1日目」とすることを定めており、民法では翌年の2月28日をもって満1歳となる。また道路交通法では2月29日生まれの方の平年における誕生日は2月28日にみなす旨の規定がある。宇宙のロマンを感じる2月29日に生まれた方は、今年は4年に1度の(?)スペシャルなバースデーをお祝いすることになるのでは。

スペシャルな2月29日が開けると3月。3月といえば3月3日の桃の節句。または「上巳(じょうし)の節句」と呼び、年間5回ある「五節句」のうちの1つである。「五節句」は、奇数が並ぶ縁起の良い日とした中国の考え方が奈良時代に日本に伝えられたもので、江戸幕府が「五節句」を制定し現代に受け継がれている(ただ旧暦の日付を西洋暦に移してお祝いをしているが、今年の旧暦の3月3日は西洋暦では4月11日)。

桃は春に花を咲かせ、夏に香りのよい果実を実らせる中国原産のバラ科モモ属の落葉高木である。花木としても果樹としても日本では季節を感じさせてくれる。

雛人形だけでなく「桃」の花を飾って季節を感じたい。。。もうすぐ春ですね。



～第22回トモエときわ研修会in札幌～

去る2月15～16日、第22回トモエときわ研修会がホテルライフオート札幌において開催された。参加者は新メンバー5名が加わり北海道トモエ肥料販売協同組合（以下北肥協）からは28名、メーカー・事務局を合わせ総勢39名の参加を得て盛會に終わった。本会は2004年に第1回が開催されて以来、メンバーが一堂に会し、1年間の営業活動や試験結果発表、意見交換をする場となっている。会の企画・運営はメンバーの若手が準備委員となり、エムシー・ファーティコムと弊社はサポート役として会を作り上げることで連帯感を高めているのが特徴となっている。

会初日はエムシー・ファーティコム原田営業本部長と当社札幌支店長の大庭の挨拶で開幕し、試験は馬鈴薯2例（加工用・生食用）、ブロッコリー、長ネギ、人参の生育や収量結果が報告され、各試験ともトモエ化成を使う経緯や目的、生産者や発表者の所感など一歩踏み込んだ内容が発表された。発表ごとにエムシー・ファーティコム中村技術普及グループ長よりご講評も頂き、収量では対象区が優位なものもあったが、トモエ化成による品質の優位性が確認でき今後の営業に活用できる試験内容だった。

その後、グループディスカッション形式で“トモエ化成のチラシを作る”をテーマに6人1組でチラシを作成し、どのような目的でデザインや文言を記載したか発表して頂いた。チラシは視覚に訴えるものや製品の特長を詳しく伝えることを目的としたものなど、グループごとの特徴が活かされ今後の営業活動のヒントとなった。

ときわタイムでは、エムシー・ファーティコム小林様よりときわ品の有機拡販に向けてと題し、バイオフミン・ソミックス・新マスターエースの腐熟化能力が幅広いpH条件下で分解能力を発揮する検証試験や全国各販売店でのときわ品取り組み事例について発表を頂き1日目を終えた。

2日目は、当社輸入原料部周より肥料原料情勢について、国際市況の現況や変動要因、日本の輸入原料の現状、海上運賃動向についての講演をおこなった。特にイスラエル・ハマス問題で航路が変更となり配船時間が大幅に掛かっていることや、近年普及が拡大している電気自動車のリチウムイオンバッテリーにリン酸鉄が使われると今後リン鉱石の需要は増えていく見通しであることが注目点であった。

次に中央農業試験場の熊谷主査より水稻新品種：空育195号（そろきらり）の特徴や栽培方法に関してご基調講演を頂いた。この品種の長所は多収といもち病抵抗性が強く、短所としては耐倒伏性がやや弱い点が挙げられる。葉面積が大きいのも特徴で過繁茂とならないよう疎植栽培する事で増収が期待できる品種のようだ。

最後にエムシー・ファーティコム札幌支店 山崎支店長よりご挨拶を頂き、同会を閉会した。今回も様々な観点から拡販へ向けてメンバーの意気込みが伝わってくる研修会であった。末筆ながら、本会の準備にご協力をいただきました皆様、そして準備委員会の皆様に紙面をお借りして心より感謝申し上げます。（札幌支店）

春が近づいてきているからか、お天気がコロコロ変わりますね。洗濯物を天日干したい私は洗濯ストレスとの戦いが始まりそうです。

